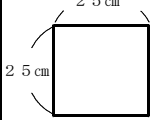

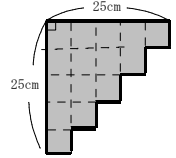
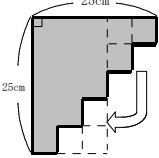
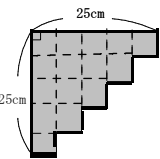
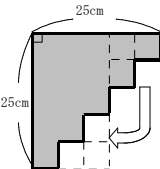
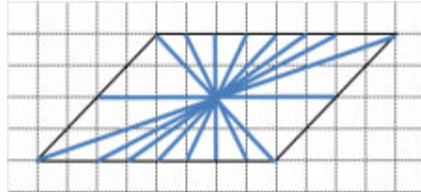
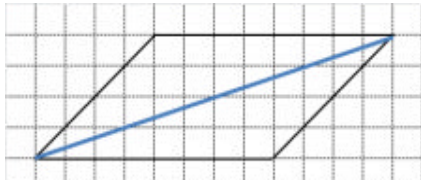
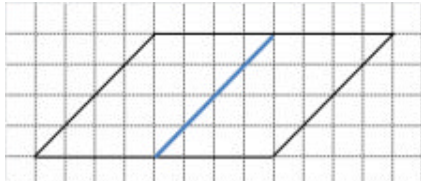
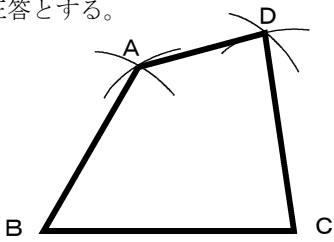
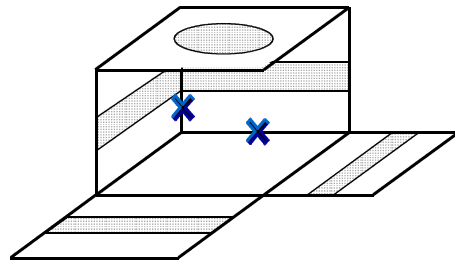
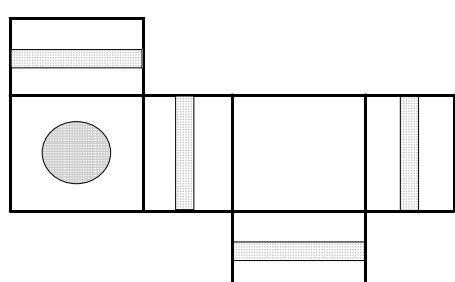
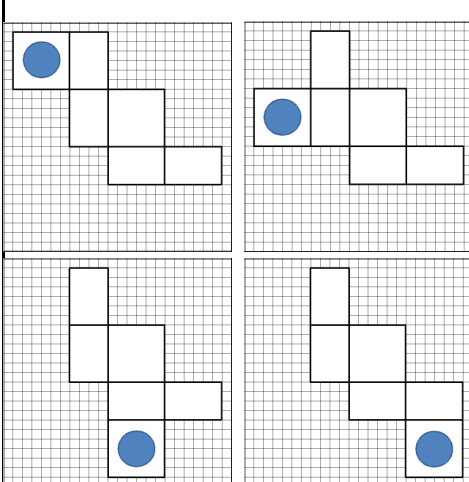


平成25年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校第5学年算数 解答及び配点一覧 No.1

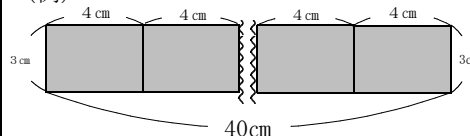
大問	中問	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点				
20点	[1]	(1)	①	技能			2 0 . 7 2	5				
		(2)	②	技能			1 5 1	5				
		(3)	③	技能	○ 分数や小数を変換した数のまま正しい順に並べている。  0 . 8 < 0 . 8 7 5 < 0 . 9 等	3	$\frac{4}{5} < \frac{7}{8} < 0.9$	5				
		(4)	④	技能			$(\boxed{100}-\boxed{3}) \times \boxed{4}$	5				
10点	[2]	(1)	⑤	考え			エ	5				
		(2)	⑥	知識	○ 白いリボンを□などで表し、かけ算の式にしている。 (例) □×0.7＝1.4	3	1.4÷0.7 ※ 答えをかいていても可	5				
10点	[3]	(1)	⑦	知識	○ さとしさんの考え方をすべて正しく書いている。 さとしさん (イ, ウ, エ) ----- ○ ゆかりさんの考え方をすべて正しく書いている。 ゆかりさん (ア, オ)	2 2	○ アからオのすべてを表に正しく書いている。 <table border="1"><tr><td>さとしさん</td><td>イ, ウ, エ</td></tr><tr><td>ゆかりさん</td><td>ア, オ</td></tr></table>	さとしさん	イ, ウ, エ	ゆかりさん	ア, オ	5
	さとしさん	イ, ウ, エ										
ゆかりさん	ア, オ											
	(2)	⑧	考え	○ 各大会の出場者数やその差をがい数を使って表している。(式や説明がない) (例) 9 0 <del>2</del> 0 → 9 0 0 0 8 7 <del>9</del> 5 → 8 8 0 0 2 <del>2</del> 5 → 2 0 0 等 ----- ○ 各大会の出場者数を上から2けたのがい数にして考えていることを言葉で表している。 (例) 2つの数を上から2けたのがい数にして計算する。 ----- ○ がい数を使って式に表している。 (例) 9 0 0 0 - 8 8 0 0 = 2 0 0 等 ----- ○ 各大会の出場者数の差を計算で求めているが、上から1けたのがい数(百の位までのがい数)にすることを触れていない。 (例) 9 0 2 0 - 8 7 9 5 = 2 2 5 だから、2 0 0	1 2 2 2	○ 次の3点をふまえて説明している。 ・ 上から2けたのがい数で表すこと、または十の位を四捨五入すること、または百の位までのがい数で表すこと。 ・ がい数にすると、 9 0 <del>2</del> 0 → 9 0 0 0 8 7 <del>9</del> 5 → 8 8 0 0 になること。 ・ がい数の式に表していること。 9 0 0 0 - 8 8 0 0 = 2 0 0 (例) 2つの数を上から2けたのがい数にして計算すると、 9 0 <del>2</del> 0 → 9 0 0 0 8 7 <del>9</del> 5 → 8 8 0 0 9 0 0 0 - 8 8 0 0 = 2 0 0 等 ○ 各大会の出場者数の差を計算で求め、上から1けた(百の位まで)のがい数で表すことについて、言葉と式を使って説明している。 (例) 9 0 2 0 - 8 7 9 5 = 2 2 5 2 2 5を上から1けた(百の位までの)がい数にすると2 0 0	5					
10点	[4]	(1)	⑨	技能	○ 式のみ書いている。または、立式は正しいが、計算結果が間違っている。 (例) 6 0 × 3 0 × 2 5 = <u>4 5 0 0</u> 等	3	○ 式と答えが合っている。 (式) 3 0 - 5 = 2 5 6 0 × 3 0 × 2 5 = 4 5 0 0 0 答え <u>4 5 0 0 0 cm<sup>3</sup></u>  ※ 3 0 - 5 がなくても可 ※ 式の数の順序が入れ替わっていても可	5				

大問	中問	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
4	(2)		⑩	考え	<p>○ 式のみ書いている。または、立式は正しいが、計算結果が間違っている。 (例) <math>36000 \div 60 \div 30 = 2</math> 等</p>	3	<p>○ 次の点をふまえて説明している。 ・メダカが36匹いるので <math>1000 \times 36 = 36000</math>で <math>36000 \text{ cm}^3</math>の水が必要であること。 ・必要な水の深さは <math>36000 \div 60 \div 30 = 20</math>で 20 cm であること。                     <u>答え 20 cm 以上</u></p> <p>※ <math>1000 \times 36 = 36000</math> <math>36000 \div 60 \div 30 = 20</math>や <math>36000 \div (60 \times 30) = 20</math>の ように数式だけでも可</p>	5
5	(1)		⑪	考え	<p>○ <math>25 \times 25</math> が1辺25 cmの正方形の面積を表していることを書いている。</p> <p>○ <math>5 \times 5 \times 10</math> が1辺5 cmの正方形10個分の面積を表していることを書いている。</p>	2	<p>○ 次の点をふまえて説明している。 ・<math>25 \times 25</math> が1辺25 cmの正方形の面積を表していること。 ・<math>5 \times 5 \times 10</math> が1辺5 cmの正方形10個分の面積を表していること。 ・1辺25 cmの正方形から、1辺5 cmの正方形10個分の面積をひいていること。 ※   の面積から  の面積をひいている。 なども可</p>	5
	(2)		⑫	関心	<p>○ (1)とは異なる考え方を、図に表している。 (例)   (正方形に分ける考え方)  (変形して求める考え方)</p> <p>○ (1)とは異なる考え方を、式に表している。 (式) <math>5 \times 5 \times 15 = 375</math> (式) <math>25 \times 15 = 375</math></p> <p>○ 答えのみを正しく書いている。                     <u>答え 375 cm<sup>2</sup></u></p>	2	<p>○ (1)とは異なる考え方を、図の中に示し、関連のある式によって正しい答えを求めている。   (例1) 1辺5 cmの正方形が15個あると見なして立式し、答えを正しく書いている。 (式) <math>5 \times 5 \times 15 = 375</math>                     <u>答え 375 cm<sup>2</sup></u></p> <p>  (例2) 図形を等積変形し、変形した図形について正しく式、答えを書いている。 (式) <math>25 \times 5 \times 3 = 375</math>                     <u>答え 375 cm<sup>2</sup></u></p> <p>等</p>	5
6			⑬	関心	<p>○ 1つ正答している。</p> <p>※ 下図のように平行四辺形の対角線の交点を通る直線であれば可  </p>	2	<p>○ 以下に示す図のような線をかき、2つ正答している。    </p>	5

大問	中問	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
7			⑭	技能	○ 点Aもしくは点Dのいずれか一点までは作図できている。	2	○ 下に示す図のようなコンパスの線をかき、作図できている。 ※ A, Dの記号がなくても正答とする。 	5
8	(1)		⑮	考え	○ 1つ正答している。 ※ 正答でないものをかいた場合は、2点減点する。	2	○ 下の図のように2か所に「×」をつけている。(完答) 	5
	(2)		⑯	知識	○ 1つ正答している。 ※ 正答でないものをかいた場合は、2点減点する。	2	○ 下の図のようにテープをかいている。 ※ テープの幅は問わず、方向が合っていれば正答とする。 	5
	(3)		⑰	考え	○ 1つ正答している。 ○ 2つ正答している。 ○ 3つ正答している。	2 3 4	○ 下の図のように4か所にふたをかいている。 ※ 穴をかいていなくても正答とする。 	5

【授業改善の視点】

立体（見取り図）から展開図を考えたり、展開図から立体（見取り図）を考えたり、展開図の面や辺と対応する立体（見取り図）の面や辺を考えたりする活動を積極的に取り入れ、面や辺の位置関係の理解を深める。

大問	中問	小問	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点																				
9	15 点	(1)	⑮	技能	○ どちらか一方の数値を正しく書いている。	2	○ 以下のように2つの数値を両方とも正しく書いている。 <table><tr><td>カードのまい数(まい)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>長方形のまわりの長さ(cm)</td><td>14</td><td>20</td><td>26</td><td>32</td><td>38</td></tr></table>	カードのまい数(まい)	1	2	3	4	5	長方形のまわりの長さ(cm)	14	20	26	32	38	5								
		カードのまい数(まい)	1	2	3	4	5																					
		長方形のまわりの長さ(cm)	14	20	26	32	38																					
(2)	⑯	技能	○ 図や表、式を正しく表しているが、答えが間違っている。 ----- ○ 答えを正しく書いている。	2  2	○ 以下のような図や表、式を正しくかき、答えの値を正しく求めている。 (例) <table><tr><td>カードのまい数(まい)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr><tr><td>長方形のまわりの長さ(cm)</td><td>14</td><td>22</td><td>30</td><td>38</td><td>46</td><td>54</td><td>62</td><td>70</td><td>78</td><td>86</td></tr></table>  (例) $4 \times 10 = 40$ (横の長さ) $40 \times 2 = 80$ $3 \times 2 = 6$ (縦の長さ) $80 + 6 = 86$ 等 答え 86 cm	カードのまい数(まい)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	長方形のまわりの長さ(cm)	14	22	30	38	46	54	62	70	78	86	5
カードのまい数(まい)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																		
長方形のまわりの長さ(cm)	14	22	30	38	46	54	62	70	78	86																		
(3)		⑳	考え			8		5																				

【授業改善の視点】  
絵や図を基に2つの数量の対応や変化の仕方にどんな特徴が見られるかを表などを用いて調べたり、2つの数量の関係を言葉の式などで表したりする活動を様々な場面で取り入れる。